

地域密着型サービス自己評価項目

評価項目構成

	自己評価 項目数	外部評価 項目数
・理念に基づく運営	24	14
1. 理念の共有	3	2
2. 地域との支えあい	3	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5	4
4. 理念を実践するための体制	7	3
5. 人材の育成と支援	6	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17	6
1. 一人ひとりの把握	3	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38	11
1. その人らしい暮らしの支援	30	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8	2
合計	89	33
サービス評価に関する(自己評価のみ)	13	
合計	102	

記入方法
事業所の管理者が介護従業者と協議し、ご記入ください。
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に「1」を、それ以外に「2」を入力してください。
サービス評価に関する項目では、選択肢から事業所として該当すると思われる「1」～「4」の数字を入力してください。

自己項目は89項目です。【国87項目+県追加2項目。除くサービス成果項目】
外部評価項目は33項目です。【国30項目+県追加3項目】
「自己評価」は、上部の項目番号が通し番号となっています。
「外部評価」には「外部評価」の表示と下の項目番号が通し番号です。
県の追加項目には「追加」。重点項目には「重点」と項目の横に表示しています。
サービスの成果に関する項目は、13項目です。

用語について
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。
チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、地域包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名
グループホーム「日和庵」すわの
(ユニット名)グループホームの場合 「日和庵」すわの
記入者(管理者)
宇都 八千代
記入日 2007年5月25日

「日和庵」すわの

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	15	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な雰囲気の中で安心して毎日を過ごすことができるよう、ホーム内を普通の家と同じ感覚で絵や花を飾り、季節の移り変わりを感じとることができるようにする。入居者と一緒にお部屋作りをします。また、ご自宅で使っていたなじみのある家具や日用品をそのままここで使って頂くようにしています。そして、個々に合った介護を提供し	1	できるだけ、家族の方たちに気軽に来れるような雰囲気作りをしていきたい。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者ひとりひとりに合った環境づくりや、生活スタイル、言葉かけを提供します。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透【外部評価】 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	近隣所の方たちとの会話を通し、利用者共々、接触を図っている。	1	今後、地域の行事等に参加していきたい。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	いつでも立ち寄り頂けるよう、声かけをしています。現在、一人暮らしの高齢者の方が寂しい時に遊びに来られています。	1	声かけしてもなかなかホームには来られないので、外の空間の場所で3時のおやつタイムの時、隣近所の方に声かけをして少しずつ、おつきあいを広げていきたいと思っています。
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	まだ、開設したばかりなので、地域の行事に参加できていないのが現状です。また、車イス利用の入居者や、常に介助を要する入居者が多いため、なかなか参加できていません。	1	今後、当ホームでできることを自治会長、民生委員さんと話し合っていきたいです。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員会議や、地域密着型サービス運営推進会議で、テーマの一つとして話し合いを行っている。	1	地域の独り暮らしの方たちとの交流の場を持つようにしていきたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	当ホームでのサービス提供の充実をはかる為管理者をはじめ職員全員で自己評価、外部評価の実施の意義を理解しています。	1	今回、初めての外部評価を受けることになり、いろんな面で指導を受け、今後の課題として一つ一つ努力していきたいと思っています。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、運営推進会議を開催しています。	1	地域の高齢者の方たちが、当ホーム又は、このような施設があるということを知って頂く機会をもってきたい。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今度、久留米市介護福祉サービス事業者協議会が設立され、グループホーム部会が発足しました。その部会に所属し、今後、他のグループホームと交流を持っていきます。	1	グループホーム部会の勉強会に参加して行きます。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	生活保護対象の入居者の金銭管理を地域権利擁護制度を利用することになりました。来月からお世話をして頂きます。	1	地域権利擁護制度、成年後見制度について、社会福祉協議会の専門員の方に講義、または市主催の講演会に参加したいと思います。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はありません。危険防止には注意しております。	1	見守りを強化するよう、職員に指導していきたい。また、見過ごすことのないよう報告の徹底を図りたい。管理者としては、一人夜勤ということにいつも疑問を抱いております。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等を結ぶ場合は、家族に十分な説明を行い、理解、納得をして頂き、契約書、同意書に署名、印鑑を捺印して頂く。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情を受けた職員は、直ちに管理者に報告し、その件については改善できるように努力します。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、ご家族が利用料のお支払いに来られるので、その時にホームでの様子をお話しています。また、3か月ごとのケアプランの見直しの時、十分に説明するようにしている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関先にご意見箱を設置し、家族や外部からの率直な意見を頂けるようにしている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、1回は職員会議を開催し、業務内容の見直しや、ホーム全体の問題点を話し合うようにしています。職員会議議事録も作成し、後日、職員みんなが見れるようにしています。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	現在、検討中です。	1	新しい入居者が入る場合は、夜勤1名と宿直1名をシフトにいれ、対応を強化します。日勤もベテランのスタッフに変更調整します。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 を 実 践 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	努力はしています。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	4	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集にあたっては、性別、年齢は不問としています。勤務にしてもできるだけ、職員の休みの希望を取りいれるようにしています。健康管理の上からも、休み時間はきちんと1時間取れるように配慮しています。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる		1	現在、当ホームでは人権教育、啓発活動には取り組んでいませんが、今後、地域研修などの参加に取り組んでいきたい。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	当ホームは医療法人併設なので、職員会議、サービス担当者会議には院長にも参加して頂き、高齢者の疾患、予防方法、事故の応急処置などの説明をして頂いています。	1	今後、職員の余裕ができれば、研修などに参加させたいと思います。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの管理者、職員との交流を持ち、今後のサービスの質の向上、問題点の解決に努めています。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務のシフトを作成する時は、できるだけ、スタッフの休みの希望を受け入れるようにしている。(月3回までは希望を優先)業務中においては、必ず、交代で休憩時間を取らせている。	1	職員との和を大切にするためにも、食事会、忘年会などを企画していききたいと思います。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員それぞれの立場において評価をしている。	1	開設して、1年未満であるため、今後、改善するところはして行きたいと思います。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	2	
	1 相 談 か ら 利 用 に 至 る ま で の 関 係 づ く り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	受け止める努力はしています。(例えば、経済的なことや肉親間の問題など)	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からの相談があれば、いつでも個別に対応できるようにしています。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、本人、家族と十分に話し合い、必要な支援を見極める為にも情報を得よう努力しています。そして、サービス利用に努めます。	1	経済的なことの説明、介護保険の説明、または、身体的な問題等についての相談を受けていきたい。
		28 外 部 評 価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にご本人、家族に見学に来ていただき、ホームでの雰囲気味わってもらおう。	1	2,3日の体験入所をして頂き、ご本人が安心し、納得できるようにしていきたい。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	3	
係り と こ れ な 関 係 づ く り と こ れ ま で の 支 援	29 外 部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	できるだけ、ゆったりとした時間をつくり、ご本人の趣味など興味のある話題づくりに努めるようにしています。最近では、久留米小唄を利用者から教えて頂き、利用者、職員みんなで歌っています。	1	利用者との信頼関係を充実していきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	なかなか、ご家族も忙しくしているので、十分なことはできないが、利用者の方のお孫さんの結婚式に介助者として参列させて頂きました。	1	当ホームでできることは、協力していきたいと思えます。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人、ご家族の悩み、苦しみ、また、うれしい事、楽しいこと等、お互いの気持ちを受け止め、それを伝えていくようにしています。	1	ご本人、ご家族、職員と一緒に過す時間を作っていきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の友人へのお便りや電話をかけ、お話をする機会を設けている。今まで、利用していたスーパー、美容室、公園などを継続して利用できるよう支援しています。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の生活の中で、体操などのレクリエーションや、3時のおやつタイムの時に職員も交えてみんなでゆっくりと過す時間を持っています。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一度、入所して家族との話し合いの上、退所された方が、その後も、時々、遊びに来て頂いています。外来で合った時、声かけをしています。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	4	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ一人一人の希望や意向を受け止め安心して毎日が過せるように努力しています。	1	困難な場合は、ご本人、家族と一緒に話し合う機会を持ち、ご本人にとっていい暮らし方を検討していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所する時点で、ケアマネージャーや家族等から情報を得るようにしています。また、入所してから、少しずつ、ご本人の会話の中で情報収集に努めます。	0		
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入所してから約1カ月ぐらいは、ご本人の生活パターンを知るためにも様子観察をします。そして個々に合った日課表を作成し、必要なサービスを提供します。	0		
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		入所した時点で、計画作成担当者がご本人の情報と現在の状態をアセスメントし、ここでの生活に必要なケアを通じて、安心して暮らせるよう計画を作成します。そして、3か月ごとにケアカンファレンスを担当スタッフを中心に見直ししていきます。見直した計画は家族にも説明し、意見を伺うようにしています。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		対応できない変化が生じた場合には、その都度、見直しします。身体的な変化については主治医に相談し、助言を仰ぎます。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		入居者の個別記録（ケース記録）の他、排泄チェック表、健康チェック表、必要な入居者には生活リズム・パターンシートを使いながら、ケアの見直し等を行っています。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている		医療連携体制による利用者の健康管理及び緊急時の医療処置の提供、又、入退院における支援を行っている。利用者、家族の状況に応じた必要な通院、外出等の送迎の支援を柔軟に対応する。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる唄、三味線、尺八の演奏会を開催しました。また、防災訓練を消防署の職員に来ていただき、消火器の使い方を指導していただきました。	1	今度、警察の職員との交流を持ち、当ホームを知る機会を持ちたい。
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用できるよう努力しています。 (例えば、リハビリ訓練、針、灸マッサージ、理美容など)	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1度開催される地域密着型サービス運営推進会議に地域包括支援センターの職員にも参加して頂き、地域との関わりの中で、情報交換をし、今後のホームと地域との関係作りに協力して頂いている。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療法人併設なので、常に医師との連携を行い、適切な医療を提供しています。また、夜間などの緊急時には対応しています。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現在、内科医師と連携をとり、いつでも相談できる体制を持っています。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の資格を持った職員を常駐し、毎日の健康管理、内服薬の管理をしています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ホームの代表者でもある院長にその都度、相談しています。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、ホームで対応できない状態になった場合は、主治医と家族と話し合い、他の総合病院等に入院できるよう支援します。終末期のあり方については、まだ検討中です。	1	今後、入所されている利用者の方たちも老化していきます。終末期のあり方については、ご家族、ご本人と話していきたいと思います。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けたチームでの支援については、今後の大きな課題と考えていますが、職員の資格問題や医療行為における制限等があり、まだ、検討中です。	1	先々は医療法人併設のホームなので、是非、取り組んでいきたいと思っています。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	当ホームから自宅へ移られる利用者には在宅で今まで利用していたサービスが受けられるよう、ケアマネージャーに連絡をし、情報を提供する。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	10	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	7	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する取り扱いに関しては職員全員に指導しています。	1	入居者一人一人の言葉かけや対応については十分な配慮が必要だということを指導していきたい。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の理解力に合わせた説明をするように努めています。そして、できるだけ、ご本人の思っていることを引き出していくように努めています。例えば、夜間のオムツ交換や、ポータブルの利用など)	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ、利用者個人の希望を受け入れ、それによって生活できるようにしているが、常時、見守り、介助の必要な場合はご本人、家族に説明し、理解して頂くようにしています。例えば、入浴の曜日、時間、順番など	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現在、3か月に1回の割合でボランティアの美容師さんに来ていただき、カットをしています。また、ご本人の希望により白髪染めのお手伝いもします。	1	時々、当ホームでエステが受けられるようになっていきたい。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の好きな献立を聞きながら、餃子作りや、お正月の餅つき、おはぎのあんこ付けをレクレーションの一環としました。また、毎回の食事の準備のお手伝いとして、おしぼりやエプロンの準備、手指の消毒等をして頂いています。片付けもできる方には一緒に頂いています。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	2階のスタッフルームの横に冷蔵庫を設置し、ご家族が持ってきた物を自由にいれることができるようにしています。タバコは基本的に禁止しており、入所時、そのことについては説明しています。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄の状況を知るために観察、記録し、排泄のコントロールができない利用者については、定期的にトイレ誘導をします。また、排便についてもチェックし、何日も排便がない場合は主治医に相談し、スムーズに排便がみられるようにします。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、毎日の入浴にしていますが、どうしても利用者の身体状況により曜日、時間を決めて入浴をしています。ご自分で入浴ができるかたについては、自由にしています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	できるだけ、ご本人の希望にそって自由に休息できるように支援していますが、利用者の中には昼夜逆転し、夜間に頻りにトイレに行かれる方がいます。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人一人の生きがい、楽しみ等をご本人、ご家族からの情報をもとに、個々に合わせた楽しみ方を提供します。(針子などの縫い物、工作、散歩、買い物などの外出、日常生活のお手伝い)	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当ホームでは、できるだけ、お金は持たせないようにご家族、利用者に説明し、理解をいただいています。家族のいない方や、家族が遠方において来られない方については、こちらで預かり、買い物等の時必要な分をお渡ししています。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	時々、近くの公園へ散歩をしています。利用者全員とはいけませんが、できるだけ、車イスのかたも一緒に行くようにしています。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	買い物ツアーでゆめタウン、公園に桜見物をしました。個々の身体状況によっては全員で出かける事ができないのが現状です。	1	季節のいい時期に出かける機会をたくさん計画していきたいです。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、暑中見舞い、ホームでの行事などで撮った写真などをスタッフと一緒に書いたり、作ったりして送っています。また、遠方のご家族からいろいろな日用品やプレゼントを頂いたら、お電話をかけるようにしています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	一応、面会時間を設けてはいるが、いつでも訪問できるようにしています。また、職員にとっても大切な訪問者なので、笑顔で対応し、お茶の提供をしています。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	4	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、身体拘束をしないケアを実施しています。	1	管理者、職員全員が身体拘束の具体的な行為について理解できる勉強会をしていきたい。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 外部評価29 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、玄関、居室に鍵をかけずにケアに取り組んでいます。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の安全に注意しています。	1	身体的に自立されている利用者には、自由にして過されています。常に危険な箇所がないか、注意し、改善していきたいです。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、針等の注意の必要な物品に対してはホームの方で管理し、利用者の状態に応じて使用できるようにします。この場合、必ず職員の見守りのなかで使ってもらいます。調理器具の包丁はきちんと保管し、職員間で徹底しています。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現在、転倒の危険性のある利用者、誤飲の危険性のある利用者には、ケアカンファレンスで検討し、個々に応じたケアを行っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や転倒などの事故発生時の応急処置の勉強会を行いました。	1	事故対策のマニュアルを作成し、全職員に指導する機会を定期的を持つようにしていきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		1	地域の人々の協力を得られるように、自治会長、民生委員さんを通じて日頃から交流を持つよう努めたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒の危険性のある利用者の家族には、普段の様子等を説明し、転倒防止の為に必要なことは協力して頂くように御願しています。例えば、ベッドの下に徘徊防止用のマットを敷いて夜間、転倒しないよう注意をしています。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康管理のためにバイタルチェックをしています。その日のリーダーが利用者全員の状態を把握します。体調の変化などの報告は管理者もしくは看護師に行い、その都度、対応しますが、状態によっては主治医に報告し、診察して頂きます。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、有資格者（看護師）が把握し、管理をします。各利用者の薬剤情報ファイルを置き、いつでもスタッフが確認できるようにしています。薬の変更や追加があった場合は申し送り簿に記載し、必ず、申し送りをします。また、服薬確認チェックシートを常備し、その都度確認します。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	高齢者の慢性便秘症は多く見られ、現在、排泄のコントロールができない入居者には主治医と相談の上、内服薬で対応しています。利用者によってはきなこ牛乳を飲んだり、ヤクルト、ヨーグルトを食べたりしています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。また、義歯は定期的に義歯専用の洗浄液に浸し、清潔に保つようにはしています。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量のチェックをし、個々の状態を把握しています。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手指の消毒に玄関入り口にウェルマッチを設置し、職員、利用者、面会者で使用しています。また、トイレの便座、手すりはハイタを使って拭いています。浴室はアルコールで噴射し、消毒をしています。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期限の確認をし、定期的に冷蔵庫内の掃除を徹底しています。また、食器、調理器具の衛生には十分な注意をしています。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	3	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	2	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		1	近隣の方たちが、気軽に立ち寄れる空間を作ってほしい。
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや和室から庭の木や植物が楽しめるようにソファの位置を工夫しています。食事の時は音楽をかけるようにはしています。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファにはそれぞれの場所があり、自由に過ごすことができますようにしています。また、2階の廊下の奥はソファを置きおしゃべりの場として家族等にも使っています。	1	1階の和室にも、もっと利用して頂けるよう工夫していきたい。	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には今まで使用していた家具などを自由にもって来て頂き、ご本人の好きなようにお部屋作りをしています。車イスを利用している方のお部屋はできるだけ、荷物を置かず広く使えるようにしています。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日に数回、換気をし、温度調節をしています。各居室には冷暖房を設置しているため、室温の管理を職員のほうでおこなっている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、手すりの設置、車イス対応のトイレを用意しています。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	洗濯物を干したり、たたんだり、また、汚物をくむ新聞紙おりを一緒にしています。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	当ホームの駐車場の一部は建物の下になるので、イベント、おしゃべりタイムの場所として利用しています。	1	今後、隣近所の方たちとの交流の場として活用していきたいです。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。